

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	教職実践演習（中・高）						授業形態		講義・演習	
科目コード	411420	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人、岩田 賢士、田畑 淳一								ICT活用	○
授業概要	本講義は、教職課程の最終科目として4年間の大学における学習全般を振り返ると共に、卒業後のキャリア形成に資するよう必要な資質・能力を育成する。特に教員免許を取得する上で学生自身の課題を把握し、その課題解決へ向けた学習を中心に教育現場での活用を念頭に講義・演習を実施する。									
関連する科目	1. 本科目は、4年次に教育実習を実施または予定している学生が受講できる。 2. 4年前期修了時点で教育実習（事前事後指導も含む）・教職実践演習以外の別表6掲載の講義（高校のみの受講生は「道徳の理論と指導法」を除く）を修得していることが望ましい。 3. 4年前期修了時点で希望する教科に関する専門的な領域（別表1もしくは2掲載）について教員免許取得条件を満たしていること									
授業の進め方 と方法	本科目は、演習を含むためグループワークなど学生自身で教員免許取得を目指す上で課題や必要な取り組みを考える内容で実施する。									
授業計画 【第1回】	履修カルテの整理とこれまでの学習（植村） 履修カルテを整理し、これまでの学習を振り返り、今後の課題を整理する。									
授業計画 【第2回】	KJ法を活用した文書作成（岩田）									
授業計画 【第3回】	学校の安全管理（植村）									
授業計画 【第4回】	スマート農業の教材化（田畑） スマート農業に関するオンライン教材を活用し、授業での教材化を検討する。									
授業計画 【第5回】	ポートフォリオの作成（特別活動論のまとめ）（岩田） 特別活動論の講義内容を整理することで教員としての資質・能力を確認する。									
授業計画 【第6回】	意思決定と職場内コミュニケーション（田畑） 学校現場における学習活動に関する意思決定と職員間のコミュニケーションの意義についてグループ協議等によりまとめ、発表する。									
授業計画 【第7回】	リーダーの資質を考える（岩田） リーダーのあるべき姿について考え、教師となった際の行動等に生かす。									
授業計画 【第8回】	資質・能力の向上と目標設定（田畑） 自分自身の目指す教師像について整理し、そのための資質・能力の向上をどのように身につけていくのか考える。									
授業計画 【第9回】	ICT活用の授業について（岩田） 教育現場でのICT活用とその実践についてまとめる。									
授業計画 【第10回】	教育実習を振り返って①（田畑） 実施した教育実習について、教育実習日誌を活用しまとめるとともに3年生の次年度向けた心構えや準備につながるよう資料を整理する。									

授業計画 【第11回】	教育実習を振り返って②（田畑） 実施した教育実習について、教育実習日誌を活用しまとめるとともに３年生の次年度に向けた心構えや準備につながるよう資料を整理する。
授業計画 【第12回】	部活動の在り方を考える（岩田） 部活動の意義と役割、教師の働き方改革等による今後の部活動の在り方について課題を整理する。
授業計画 【第13回】	教育実習伝達報告会（植村・岩田・田畑） 教育実習に向けた取り組みの反省と総括等を行う（３年生と合同で実施）。
授業計画 【第14回】	教育課程の振り返り（ワークショップ）（植村） これまでの教職課程に関する自分自身の取り組みを振り返る。
授業計画 【第15回】	教育課程の振り返り（ワークショップ・発表）（植村） 前時まとめたこれまでの教職課程に関する取り組みを発表する。
授業の到達目標	○４年前期までに修得した学習内容を振り返り、教科指導や生徒指導に関する専門的な知識・技能の到達度を確認する。 ○学生に教員免許取得者としての自覚を促し、責任感を醸成する。 ○学校現場で求められる実践的な知識・技能の育成について、教員や教員経験者との意見交換や学生同士のディスカッションを通して理解を深める。 ○重点領域として、教員に必要な「生徒指導」、「学級経営」、「保護者との人間関係の構築」など、社会性や対人関係能力が身に付くような講義を展開する。 ○高校農業科、中学高校理科の教員としての基礎的な力量を形成を目指す。
学位授与の方針 （DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-（1）／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-（1）／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-（1）
授業時間外学習【予習】	履修カルテを事前に整理（５時間程度） 各講義に合わせて担当者から事前課題などを提示する（各１～２時間）
授業時間外学習【復習】	講義の振り返り（各１～２時間） レポートの作成（１０時間）
課題に対する フィードバック	レポートなどにコメントし返却。
評価方法・基準	植村担当：３５点（提出物感想文１５点、グループワーク１５点、授業姿勢５点） 岩田担当：３５点（レポート提出１５点、グループワーク１５点、授業姿勢５点） 田畑担当：３０点（レポート提出１３点、グループワーク１２点、授業姿勢５点）
テキスト	適宜配布
参考書	「今後の教員養成・免許制度の在り方について」（答申） 文部科学省 「中学校学習指導要領」・「中学校学習指導要領解説 総則編」 「高等学校学習指導要領」・「高等学校学習指導要領解説 総則編」
備考	本科目は、講義受講までに教育実習を終えているか、後期に教育実習の予定者に限り受講できる。